

東村山市民新聞



193号
定期購読料
一部 150円



運動公園のD51-684



貴重な日本の財産を管理もせずほったらかしの末に 渡部市長 反対を押し切り無惨に解体 解体中止を懇願する市民の声や署名を完全無視

運動公園に1976（昭和51）年に設置されていた、蒸気機関車D51が、10月に解体された。このD51は熊本市長の時代に、JRから管理することを条件に無償で譲り受けたものだが、特に渡部市長時代には、塗装さえせずほったらかし、錆び朽ちて悲惨な状態になっていたものだ。

理由は鉄道関連会社の報告書に「この機関車を設置している枕木は腐っており、震度6の地震がきたら転倒し、中のアスベストが飛散する可能性がある。修復するには多額の費用がかかるので、解体した方が得策だ」などと書かれていたことだが、この報告書の内容は大いに疑問があると他の専門家

「これを見かねて、過去の議会では矢野元市議や蜂屋元市議などが、「あまりに悲惨。しっかりと管理するべきだ。」と指摘してきたが、渡部市長はこれを無視し続け、今年度になって、突然解体を決定した。

解体業者が調査？

まず、この報告書を作成した事業者自体が1600万円もの金額で「解体の随意契約」をしたということ、そして、枕木の腐敗はほんの一部で、同様の状態で展示している全国の機関車は、東日本大震災や熊本地震（震度7）でも転倒した例は特殊な例を除き無いこと、そしてテレビなどで大宣伝された、補修費用1億3千万円という金額はとも考えられない、ということもこの補修費用について、朝木議員が議会で質したところ、この見積もりは「機関車の写真を見て見積もった」という、驚きの答弁があり、全く根拠のない数字であることがわかった。

え、解体を思いとどまって欲しいという市民の思いに対し、市長は話を聞くことすら拒否し、集まった2500名余の署名も無視して強行した。

インサイドレポート

利益170万円余の自動販売機 市長が特別に認め、無償で設置

前号でも既報の通り、山川元市議が会長を務める「すみれ会」という任意団体は、渡部市長が特別に認めて、市の施設に自動販売機を無償で設置している。

この「すみれ会」という団体は「母子寡婦福祉会」と称しているが、HPを見ても旅行やパーティなどの出席の写真ばかりで、当然収支報告もされておらず、活動実態は不透明だ。

市施設の他の自動販売機の実績を見ると、一台あたり、光熱費を引いても年間22万円ほどの利益があることから、この計算で行くと市内に8台（秋津公民館1台、中央公民館1台、東村山市運動公園5台、萩山公民館1台）も設置している「すみれ会」は年間176万円もの利益を得ていることになる。

問題の元山川元市議が、収支報告をどこにも明らかにしてしていない、この自動販売機の利益をどのように使っているのか、注目される。ただしに収支を明らかにすべきだ。

市民に見えないところで、渡部市長は元公明党市議にこんな優遇までしている。

多摩湖寿会

老人クラブの横領裁判、山川昌子元市議の敗訴確定 高等裁判所も山川元市議の不正を認め、控訴棄却

弁護士もつけず、創備ライターと元東村山警察副署長を引き連れて裁判所に…

山川昌子元公明市議が老人クラブ「多摩湖寿会」の会計から多額の横領をしたと指摘し、「山川元公明市議が横領！」と報じた本紙や、横領を糾弾した多摩湖寿会現会長を山川元市議が訴えた裁判は、東京地裁に続き、本年4月24日、山川元市議の完全敗

訴の判決が出た。山川元市議は上告せず、この判決は確定した。

この名誉毀損裁判では、朝木議員が議会で取り上げた市からの補助金（公金）の他にも、会員から集めた福祉基金や総会の際のお祝金などの会計未入金などの事実も認定され、山川元市議の「多摩湖寿会のために積

み立てていた」という幼稚な主張は、裁判所では全く相手にされず、創備ライターや朝木明代議員殺害事件を担当した元東村山警察副署長らも山川元市議に協力し、毎回裁判所に行き書面も提出したが、そろって自爆という結果となった。

しかし、裁判所の判決が出た後も渡部市長は山川元市議を告訴しない方針のようで、また公明党が牛耳る東村山市議会では各議会初日に、この山川元市議が会長を務める東村山市文化協会に、特別に「講堂」で演奏会等認めているという蜜月関係が続いている。

市民の声を無視して強行！

この解体を知った市民、そして全国のSLファンが集結し、保存する署名活動を始め、大きな動きとなり、同じようなSLをボランティアで保存している全国のSLファンが駆けつけ応援。 ボランティアや子供たちを中心にポロポロのSLを蘇らせた例は全国にたくさんあり、費用も100万円もかからないことがわかった。

渡部市長にせひこのことを伝

★納得いがない コーナー

このコーナーは、日頃感じている納得いがないことがらを思い切って世間につけてみようという、意見や情報の交換欄です。編集部も取材し応援します。電話でも葉書でもご利用お寄せ下さい。

①台風19号がきた10月12日に、市内ふれあいセンターに自主避難しましたが、毛布と食料は自分で持ってくるよう言われました。毛布は貸していただけましたが、大雨の中、車もないのに毛布や食料を持って避難するのは高齢者には無理です。現実に合わせて対策をお願いしたいです。(市内高齢者)

②台風の際に防災無線でいろいろ連絡放送していたようですが、内容は一切わかりません。何年か前にお金をかけてデジタル化したと

聞きましたが、全く役に立たないです。(諏訪町 自営業)

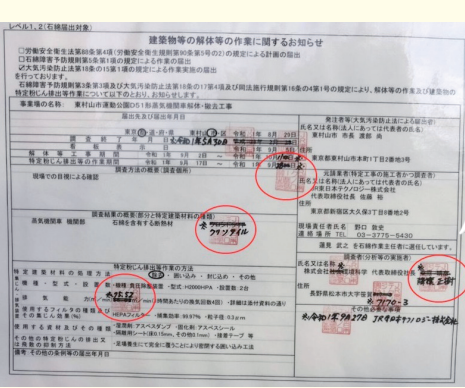
③運動公園のS1が解体されてしまい、本当にショックです。子ども頃に遊んだ記憶もありますし、あんな立派なS1を捨ててしまうなんて、渡部市長はその価値がわからないのでしょうか。寂しく悔しい限りです。(萩山町 ほか多数)

④東村山市の道路は「アコボコ、ひどすぎます。穴も多いので自転車で走るときも危険です。(本町 主婦ほか)

Town News

自分の会社名まで間違える業者なんてあるの？

運動公園D51のアスベスト工事、信じられない本当の話



1面でも報じた通り、運動公園のD51は解体が強行され、解体の前にはD51内にあるアスベストの除去工事が行われた。が、この工事業者の質に周辺住民や公園利用者から不安の声が上がっている。写真上は、9月4日に設置された、S1解体・アスベスト除去工事の工事看板だが、なんと工事件名を始め、会社名や住所、連絡先、社長の名前まで、肝心の表記

が10箇所も間違っていた。市民や朝木議員を含めた議員たちの指摘により、出したり引込んだり3回の修正を繰り返して、9月28日に設置された最終的な看板が上の写真(囲み丸は編集者書込みだが、打ち直したり訂正印を押したりで、何が本当なのかかわからない看板に。

関係者、市民からは「こんなに加減な業者に工事を任せて大丈夫か!？」という心配の声が多く聞かれたが、こんな業者と「随意契約」をし、市民の命に関わるアスベスト除去工事を発注した東村山市に根深い問題がありそうだ。

朝木直子 VOICE

朝木直子略歴 ▼諏訪町出身、化成小・二中、都立高武蔵・慶應大卒／会社勤務／高齢者団体役員／母・明代議員殺害事件後、遺志を継ぐ／地元FM局で番組作り／1999年から市議、現在6期目(草の根市民クラブ)

▶私は議員報酬のお手盛り値上げに反対し、お手盛り値上げ分および市職員より多いボーナス減額提案分は受け取り拒否しています。6月期末手当からは48,500円受け取り拒否(返上)しました。

これまでの議員報酬返上合計 **5,627,910円**



編集後記

発行人編集長 矢野ほづみ

私は1995年に故朝木明代議員と共に議員活動を始め、東村山市議員を6期務めました。

故朝木明代議員が1987年に市議となつてから、草の根市民クラブは「ムラ議会の改革を」というキャッチフレーズを掲げ、「群れて改革を拒むムラ議員」たちと闘い、また政教一致集団である創価学会・公明党への批判も続けてきました。

1995年9月には朝木明代議員

朝木直子 2019年市議選挙収支報告書

自己資金	158,071円
事務所費	27,000円
ポスター予備	77,025円
選挙用ピラ予備	1,430円
ハガキ作成費	36,200円
ピラ新聞折込費用	16,416円
△支出合計	158,071円

矢野穂積 2019年市議選挙収支報告書

自己資金	131,071円
ポスター予備	77,025円
選挙用ピラ予備	1,430円
ハガキ作成費	36,200円
ピラ新聞折込費用	16,416円
△支出合計	131,071円

ポスターとピラの必要枚数は公費負担です。タスキなどの選挙用品は前回のものを使用しました。

消費税10%に！ でも国家公務員の 給与は増額 給与は増額

国の財政難により、社会保障費確保などの名目で消費税がこの10月から10%に増税され、庶民の生活はますます困窮。高齢者はいくつになっても働かなければ生活できず、現役世代も週休1日でフルに働いても生活

費はギリギリ、生きていくのがやっと、という人たちが増えている中で増税。経済状況がますます悪化するのは必至です。

その増税直後の10月11日に安倍内閣は国家公務員の給与を引き上げるという閣議決定をしました。相変わらず庶民を小バカにしている安倍政権、一刻も早い退陣を。



朝木直子ウェブサイト